経済産業省・東京証券取引所による「健康経営銘柄2016」に選定されました

「健康経営銘柄2016」選定企業一覧（25銘柄、銘柄コード順）

銘柄コード	企業名	業種	備考
1911	住友林業	建設業	初選定
2120	ネクスト	サービス業	初選定
2502	アサヒグループホールディングス	食料品	連続選定
2651	ローソン	小売業	連続選定
3591	ワコールホールディングス	繊維製品	初選定
4452	花王	化学	連続選定
4507	塩野義製薬	医薬品	初選定
4543	テルモ	精密機器	連続選定
4902	コニカミノルタ	電気機器	連続選定
5012	東燃ゼネラル石油	石油・石炭製品	連続選定
5108	ブリヂストン	ゴム製品	連続選定
5332	TOTO	ガラス・土石製品	連続選定
5406	神戸製鋼所	鉄鋼	連続選定
5947	リンナイ	金属製品	初選定
7012	川崎重工業	輸送用機器	連続選定
7013	IHI	機械	初選定
7862	トッパン・フォームズ	その他製品	初選定
8001	伊藤忠商事	卸売業	初選定
8566	リコーリース	その他金融業	初選定
8601	大和証券グループ本社	証券・商品先物取引業	連続選定
8766	東京海上ホールディングス	保険業	初選定
8860	フジ住宅	不動産業	初選定
9005	東京急行電鉄	陸運業	連続選定
9201	日本航空	空運業	連続選定
9719	SCSK	情報・通信業	連続選定

＊「健康経営」はNPO 法人健康経営研究会の登録商標です。
＊選定方法は33業種毎1社選定（最大33社となりますが、該当企業がない場合、その業種からは非選定となります。今年は25業種25企業が選定されました。）
<参考>経済産業省ニュースリリース
http://www.meti.go.jp/press/2015/01/20160121001/20160121001.html
<参考>東京証券取引所ニュースリリース
http://www.jpx.co.jp/news/0010/20160121-01.html

プレゼンターの元バドミントン日本代表選手潮田玲子さんと宮脇宣綱社長

「健康経営銘柄」とは
東京証券取引所の上場企業の中から、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる優れた企業を、経済産業省が東京証券取引所と共同で選定する制度。中長期的な視点から業績・企業価値の向上を実現し、株価の向上に繋がることが期待される、投資家にとって魅力ある企業として公表する取り組みだ。
健康経営銘柄の選定は、15年より実施され、東証全上場企業約3500社中22社、16年は約3600社中25社が選ばれた。今回、不動産業種では初めてフジ住宅が選定された。

2016年1月21日 発表会（イイノホールにて）

トップインタビュー

幸せはこぶ住まいづくり

代表取締役社長
宮脇 宣綱 氏

フジ住宅は分譲住宅（戸建住宅、分譲マンション）をはじめ、中古住宅再生や土地有効活用、賃貸・管理、注文住宅を主とする住まいのトータルクリエーター。大阪府を中心に兵庫県と和歌山県の一部を営業地域とし、地域密着型経営を実践する。住宅供給棟数ランキングでは、10年連続でトップ3を獲得している。宮脇宣綱社長に現状と今後の事業展開、不動産業界初となる「健康経営銘柄2016」に選定されたことについて話を聞いた。

―2016年3月期の業績と17年3月期以降の見通しについてお聞かせ下さい。

「16年3月期は、売上高907億2600万円（前期比14・0％増）、経常利益52億9800万円（同22・6％増）、当期純利益34億3000万円（24・5％増）と、売上高が当社創業以来過去最高額を計上し、当期純利益においても史上最高益を更新しました。主として自由設計住宅、中古住宅の販売が通期を通して好調に推移し、前連結会計年度において受注額が大幅に増加した個人投資家向け一棟売賃貸アパートの引渡しが業績に寄与しました」

「17年3月期の見通しにつきましては、売上高963億円、経常利益54億円、当期純利益36億円の増収増益の計画としております。引き続き分譲住宅事業、中古住宅のエリア拡大による販売戸数の増加を予想しており、また個人投資家向け一棟売賃貸アパートの引渡しによるサブリース物件が増加し、賃貸及び管理事業において安定的な収益を見込んでいます」

―今回、不動産業界で初めて「健康経営銘柄」に選定されたとお聞きしましたが、具体的にどのような取り組みをされているのでしょうか。

「今回『健康経営銘柄』に選定していただいたことは非常に光栄であり、創業者で現取締役会長今井光郎の想いや経営理念を実践し続けてきた結果だと感じております」

「当社では、全役職員がイキイキと働くことができる取り組みを実践しています。一例として、定期健康診断では法定内検査項目に加え、腫瘍マーカー、ピロリ菌検査、乳がんエコー検査を全額会社負担で導入しています。また通常、健康保険組合未加入のパート勤務社員は、健康診断受診対象ではない企業がほとんどだと思いますが、現会長の『パート勤務社員に対しても受診させてあげたいがどうしたらいいのか』との提案がきっかけとなり、パート勤務社員を含む全役職員を対象に、全額会社負担で健康診断を実施することになりました。また事業所内で勤務時間中に健診を実施することで、100％の受診率を達成しています。その他、再検査費用の全額支援や脳ドック補助金制度、家族健康診断斡旋制度等も設けています」

「職場環境改善への取り組みも、全事業所への電解還元水整水器（水素水）の設置や高気圧酸素ボックスの設置、モーツァルトをBGMに採用するなど積極的に実行しています」

「当社では、社員は『会社の健全な成長を支える最も重要な経営基盤』と考え、『社員の健康・幸福なくして、会社の発展は成し得ない』という創業者である現会長の想いから、当社の経営理念の最初には『社員のため』『社員の家族のため』とあります。それは働く社員が幸せであるからこそ、お客さまに心から喜んでいただける仕事ができると考えているからです。『お客さまに幸せになっていただくこと』を第一と考え、このような取り組みを実践しております」

記者の目

フジ住宅では、社員・社員の家族の健康を第一に考えている。創業時から、心身ともに健康であること、仕事に誇り、やりがい、生きがいを持ち、仕事上もプライベート上も充実した人生を送ることを重視してきた。健康で働きやすい環境を企業が作ることで、社員はより充実し、顧客に心から幸せになってもらいたいと本気で考え、実践する。それは単に戦略的な経営として取り組んでいるのではなく、人として大切なことをトップ自らが実践し、会社全体で取り組んできた結果が今回の「健康経営銘柄」の選定につながっているのだろう。目先の利益や業績だけを追求するのではなく、「お客様に幸せになっていただきたい」「フジ住宅で家を買って良かった・建てて良かった」と、心から喜んでほしいという強い思いが伝わってくるのを感じた。

分譲住宅事業
50～200戸規模の戸建て住宅の「街づくり」と、お客様に住まいづくりにご参加いただく「自由設計」が特徴。 2012年2月より分譲マンション販売再開。

アスモの丘 グリーンセントラル堺（大阪府堺市西区堀上緑町）

住宅流通事業
中古住宅の「仕入」⇒「リフォーム」⇒「販売」の3つの要素から成り立つ中古住宅再生事業『快造くん』。また、小規模の新築建売住宅の販売により、自由設計や大規模プロジェクトだけではカバーできない顧客ニーズに対応。

自由に見て、自由に選べる住宅情報展示場

土地有効活用事業
既契約者様や金融機関等各方面からご紹介いただいた土地所有者に対し、賃貸住宅の提案型の建築請負を中心に展開。

サービス付き高齢者向け住宅「フジパレスシニア」

注文住宅事業
創業以来の戸建て住宅の実績で培ったノウハウを生かし、土地を保有するお客様に対して戸建て住宅の新築や建て替えを請け負う事業。

本社のある大阪府岸和田市に開設した当社単独の住宅展示場

賃貸及び管理事業
賃貸事業、賃貸マンションの建物管理や入居者募集、賃料回収等および分譲マンションの管理組合からの運営委託が主業務。100％出資子会社フジ・アメニティサービス株式会社にて運営。

フジ住宅株式会社
http://www.fuji-jutaku.co.jp/
〒596-8588 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号 TEL:072-437-8700
PR